

厚生省研究所人口民族部の「戦争の人口に及ぼせる影響」に関する研究報告會

厚生省研究所人口民族部に於ては、昭和十七年十二月十四日、行政改組後の最初の企てとして、「戦争の人口に及ぼせる影響」なる主題の下に厚生省大會議室に於いて研究報告會を行つた。小泉厚生大臣はじめ、各局課長、事務官及び技師、また部外よりは企畫院第三部長龜山孝一氏等の出席あり、午前九時半開會午後四時過ぎ迄に互り各研究官より擔當研究事項の報告を行つた。

當日参考配付せる資料の目次、及び當日の各項目報告擔當者氏名を掲ぐれば以下の如くである。

『戦争の人口に及ぼせる影響』目次

- 第一章 總説
 - 第一節 序論
 - 第二節 戦争の人口に及ぼす影響
 - 第三節 戦時人口対策の重要性
- 第二章 大東亞戦争の我が國人口に及ぼせる影響
 - 第一節 日清、日露戦役が我が國人口に及ぼせる影

響と今次戦争が我が國人口に及ぼせる影響との顯著なる相異點

- 第一項 序論
- 第二項 日清戦争の人口現象に及ぼしたる影響
- 第三項 日露戦争の人口現象に及ぼしたる影響
- 第四項 今次大戦に於ける影響との顯著なる相異點

第二節 大東亞戦争の出生に及ぼせる影響

第三節 大東亞戦争の結婚に及ぼせる影響

第一項 序論

第二項 支那事變當初の婚姻數増加とその理由

第三項 昭和十三年以後に於ける結婚の動向

第四項 結婚年齢の變動

第五項 大都市に於ける結婚の動向

第六項 結言

第四節 大東亞戦争の死亡に及ぼせる影響

第一項 戦争の死亡一般に及ぼす影響

第二項 大東亞戦争の男女年齢別主要死因別死亡率に及ぼせる影響

第一目 序論

第二目 男子年齢別特殊死亡率の傾向

第三目 女子年齢別特殊死亡率の傾向

第五節 大東亞戦争下の結核狀況

第一項 大東亞戦争の體位に及ぼせる影響

第二項 大東亞戦争の乳幼児體位に及ぼせる影響

第六節 大東亞戦争の自然増加に及ぼせる影響

第七節 大東亞戦争の年齢構成に及ぼせる影響

第一項 年齢構成を變化せしむる三要因

第二項 大東亞戦争下の我が國人口年齢構成の變化

第八節 大東亞戦争の地域的人口移動に及ぼせる影響

第一項 人口政策的道府縣ブロックの構成とブロック間移動

第二項 道府縣間移動

第三項 市郡間移動

第四項 都市別移動

第五項 人口集中地域（工業規制地域）

第一目 序論

第二目 人口靜態

第三目 人口動態

第六項 戦時下人口の地域的移動の特性と其の人口政策的意義

第一目 序論

第二目 地域的人口移動の距離的制約

第三目 移動人口の構成と其の人口政策的意義

第四目 人口増殖力の地域的的特性と其の人口政策的意義

一、都鄙

二、道府縣

三、都市

四、括要

第七項 結言

第八項 附説——戦時下外地に於ける人口の地域的移動の一例として見たる朝鮮

第一目 人口移動の概況

一、道別現在人口増加率

二、道別人口流出流入超過

三、道別職業別人口構成

四、道別在朝鮮内地人口の移動

第二目 道別人口動態と勞力供給量

一、道別出生率、死亡率及自然増加率

二、在朝鮮内地人口の出生率、死亡率及自然増加率

然増加率

三、朝鮮道別勞力供給量の推計

第九節 朝鮮人の内地交流状況の變化

第一項 朝鮮人口の概観と内地移住

第二項 内地在住朝鮮人人口の若干の考察

第十節 大東亞戰爭の職業的人口移動に及ぼせる影響

第一項 戦時下に於ける職業的人口移動の特質

第二項 工業勞働人口の増加

第三項 農業勞働人口の流出

第四項 商業人口の轉業

第三章 主要交戦國に於ける戦争の人口に及ぼしたる影響とその對策の概略

第一節 第一次歐洲大戰の主要交戦國人口動態に及ぼしたる影響

第一項 第一次歐洲大戰の規模

第二項 戦争による出生脱落

第三項 戦後の死亡増加

第四項 戦傷病死

第五項 戦争による人口損耗通計

第六項 婚姻の減少

第二節 第一次歐洲大戰後の主要交戦國人口情勢及

び人口對策

第一項 戦争の人口に及ぼす構造的影響、特に銃後勞働力の不足と婦人勞働の普及について

第二項 第一次歐洲大戰以降今次大戰に至る主要交戦國の人口動態

第三項 第一次大戰後の各國人口對策概観

第三節 第一次歐洲大戰の獨逸國民體力に及ぼせる影響

第一項 總論

第二項 戦争の近代化と國家總力戰

第三項 國民體力に及ぼす戦争の意義

第二項 各論

第一目 戦争の國民體力に及ぼしたる影響

第二目 戦争の國民保健に及ぼしたる影響

第三目 戦争下の死亡状況

第四目 戦争の母性能力に及ぼしたる影響

第五目 戦争の妊孕現象に及ぼしたる影響

第六目 戦争の精神病及國民精神に與へたる影響

第七目 戦争下に於ける性病の蔓延状況

第四節 今次大戰下に於ける獨逸人口動態並に人口對策

第一項 今次大戰下獨逸人口動態

第二項 今次大戰下に於ける獨逸の人口對策

第四章 長期戦下の人口對策

第一節 長期戦下の人口對策の目標

第二節 人口の地域的移動に對する對策

第一項 人口の地域的移動に對する應急對策

第二項 人口の地域的移動に對する恒久的對策

第一章 人口再配分計畫の國土計畫に於ける地位

第二目 人口再配分計畫に關する一つの手法

各項目報告擔當者氏名

第一章 第一、二及三節 岡崎研究官

第二章 第一、二及三節 關山研究官

第三章 第一、二及四節 本多研究官

第四章 第一節 岡崎研究官

第一章	岡崎研究官
第二章 第一、二及三節	關山研究官
第四章及五節	横田研究官
第六及七節	島村研究官
第八節	館 研究官
第十節	雪山研究官補
第三章 第一、二及四節	本多研究官
第三節	笠間研究官補
第四章 第一節	岡崎研究官
第二節	館 研究官

妻の職業別出生力調査(第一次)の施行

厚生省研究所人口民族部に於ては、特に妻の職業を考慮したる夫婦出生力に關し人口政策上一基本資料を得ることを目的として、妻の職業別出生力(第一次)調査を行ふこととなつたが、その調査要綱、調査票等を掲ぐれば以下の如くである。

尚、調査要綱記載の趣旨の下に選定せる調査豫定地は左記の如く、配付調査票は五萬票を超える見込である。

調査豫定地

一、紡織業

(一) 鹿兒島縣

川邊郡 萬世町

加世田町